

～校長室から～

平間だより（第5号）

読者のみなさん、こんにちは。

新年度が始まり、あっという間に1カ月が過ぎてしまいました。今年度も引き続き川崎工科高校にて勤務となりましたので、よろしく願いいたします。今号では、今春卒業していった生徒たちや新年度の風景などをお届けしたいと思います。

OL来校

今年3月末の出来事です。事務室前に二人のフレッシュなOL姿の女性を発見。よく見ると今年の卒業生でした。顔も名前も覚えのある二人で、さっそく声をかけるとにっこりほほ笑んで、「校長先生、分かる？」と。「分かるよー。いやーすっかりOLだね。」と返すと、「見せにきたんだ。」と言って、お目当ての先生がいる職員室に向かいました。一人は、私が現任校に着任して最初に顔と名前を覚えた生徒でした。着任後少し落ち着いた頃から、毎朝昇降口まえで遅れてくる生徒たちを待っていると、その生徒が3日連続で遅刻登校。3日目にクラスと名前を聞くと素直に教えてくれました。以来、何度となく声をかけていたその生徒は、いまや立派なOL姿に。もう一人の生徒も少し心配なところがあった生徒でしたが、先生たちや現業さんたちが本当に親身になって見守ってくれたおかげで、これまた立派に成長しOL準備完了。幸せになるんだよ。

新入生代表

今年度の入学式で新入生代表の言葉を披露してくれたのは、少数精鋭の女子生徒の中の一人、Iさんでした。Iさんは飾らない自分の言葉でしっかり語ってくれました。中でも印象に残ったのは、最近読んだ本の中で見つけ感銘を受けたという、故スティーブ・ジョブズ氏の言葉をもとに自分の変化や決意を語ってくれたことでした。

「この地上で過ごせる時間には限りがあります。本当に大事なことを本当に一生懸命できる機会は、二つか三つくらいしかないのです。」

これがその言葉です。Iさんはこの言葉と出会い「ハッと」したと語りました。言葉のパワーを改めて感じるとともに、そのパワーを自分のパワーにできるIさんの感性という能力を垣間見た瞬間でした。Iパワーの成長が楽しみです。

新学期の風景

今号を書いた朝の風景です。いつものように小田急線登戸駅の改札を出てJR南武線に

向かってコンコースを歩いていると、逆方向の流れの中に新入生と思われる小さな制服姿の二人の児童を見つけました。一人は小田急線の改札へ向かう階段を下りかけたところで、もう一人は、本当に自分が入ってしまいそうな、思わず笑ってしまいそうなくらい本人にとっては大きなカバンを提げて、階段を下りかけている一人を追いかけます。「待ってー」と言いながら、JR南武線の改札を出して、まだ体からぶら下がったままの定期券ケースをたくし上げながら、大きな大人たちの足元を一生懸命走ります。

いまは自分が入りそうなくらい大きな大きなカバン、広い広い校庭、見上げる大人たち。それらはいつの間にか自分にぴったりのサイズになったり、やがて物足りない存在になることでしょう。

2015年 卯月
角田